

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひえだきっず		公表日		2026年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		のびのび動けるような広さだと思う 法定基準よりも広く設定している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	7	法定基準よりも多く配置している (法定基準3人を7~8人配置)	送迎で人数が足りなくなる時がある 子供の人数に対して職員が足りない 朝の会等で全員で対応していない 職員の声で子供の様子や声が見聞きできない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		3か月に1回業者の清掃が入っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		パーティションを使いクールダウンできたり 落ち着ける空間にできるように配慮している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		当日の内容を課題を踏まえ次回の内容を検討している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		送り迎えの際、話す時間がある	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		空き時間に話し合っている 当日の内容を課題を踏まえ次回の内容を検討している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		第三者評価は行っていないので今後考えていく必要があると思われる
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		研修の告知があり参加の機会をもらっている 職員の目の届くところに研修の案内を提示している ジョブモデルにて研修の機会を設けている HPで公表している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		モニタリング表を配布し保護者の意見、家庭での様子等の把握に努めている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		保護者に提出してもらったモニタリング表を職員が確認できるようにしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		作成した計画書を職員が確認できるようにファイリングしてある	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		個人日報を作成して個々の療育の内容や状況などを記録に残している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		計画書に5領域が反映させるように支援項目を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	4	毎日個別のプログラムを職員間で話し合いながら立てている 話し合いながら進めておる	全員に伝わっているとは限らない(情報が) 一部のみにしか伝わっていないことが多い 一部のみにしか共有されていないことがある 情報など伝わらないことが多い
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		毎週同じ曜日に来ても違う活動プログラムになるように工夫している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		毎回、利用児の状況、成長具合に合わせて個別と集団の時間を設けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	毎回ではないが特別確認等が必要な日には打ち合わせを開始前に行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		打ち合わせに参加できない時もあるのでその日に行ったことと一緒にコメントして気づいたことを書いて共有している 毎回一人一人に合わせた課題にしているで話し合いながら共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		打ち合わせに参加できない時もあるのでその日に行ったことと一緒にコメントして気づいたことを書いて共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		3ヶ月に1度計画書を作成するので定期的に行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		サービス担当者会議や自立支援協議会に児発管が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	連携しての支援ほどではないが相談支援員や園の先生方と情報共有をしている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		相互理解を深めるため関係機関に支援計画書のコピーを渡す場合がある	保護者からの相談等は受けているが、他の事業所や関係機関とは支援内容の共有はしていない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3		保護者や園の方々と少しづつ情報共有できるようにしてきたが就学先とは連携が取れていない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	9		保育所や園に通っている子がほとんどなので事業所として他の子供と活動することはあまりない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		毎回のお迎え時に今日の様子を話している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	玄関に保護者向け研修会の掲示を行っている	事業所自体では行っていないが研修等の情報提供は行っている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	契約時に説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		定期的にモニタリング表を記載提出してもらい支援計画書を作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		サインを頂くときに内容を説明し理解してもらっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		朝の受け入れ時や活動の様子を伝える時に家での様子を聞きながら送炭に応じている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	9		父母会、保護者会は存在しない (園に通っている子供がほとんどのため)
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		定期的に渡すモニタリング表に面談の要望の有無を確認している	相談や申し入れは職員間で周知しているが、他の保護者には知らせていないため改善が必要と思う
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		Facebookで毎回の療育の内容を配信している LINEビジネスで保護者からの要望や意見など発信できるようにしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		鍵付き書庫にて保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		日本人以外の保護者に母国語に翻訳した文章で伝えるなど配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9		地域住民を招待するほどの大きな行事は行っていない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		職員がいつでも閲覧できるようにファイリングしてある	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		4月と9月に避難訓練等を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		契約時に渡すアセスメント表内に病歴等の記載欄を設けている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		食事提供は行っていないがアセスメント表で確認を行っている 契約時に渡すアセスメント表内にアレルギーの記載欄を設けている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		年度初めに作成する安全計画に沿って避難訓練等を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		契約時や年度初めに保護者に緊急連絡先、避難先の確認をしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ジョブメドレーで研修を受けている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		ジョブメドレーで研修を受けている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		重要事項説明書、契約書に記載し契約時に説明をしている 事業所内に内容等を掲示して保護者がいつでも確認できるようにしている		